



Open
Access

研究者の皆さん、
自らの研究分野のコミュニケーションのルートを開放しましょう。

学術研究成果に

- オンラインで
- 無料で
- 利用許諾の制約なしに

アクセスできる環境を創り出しましょう。

大学研究図書館協会

www.ala.org/acrl

研究図書館協会

www.arl.org

SPARC

www.arl.org/sparc

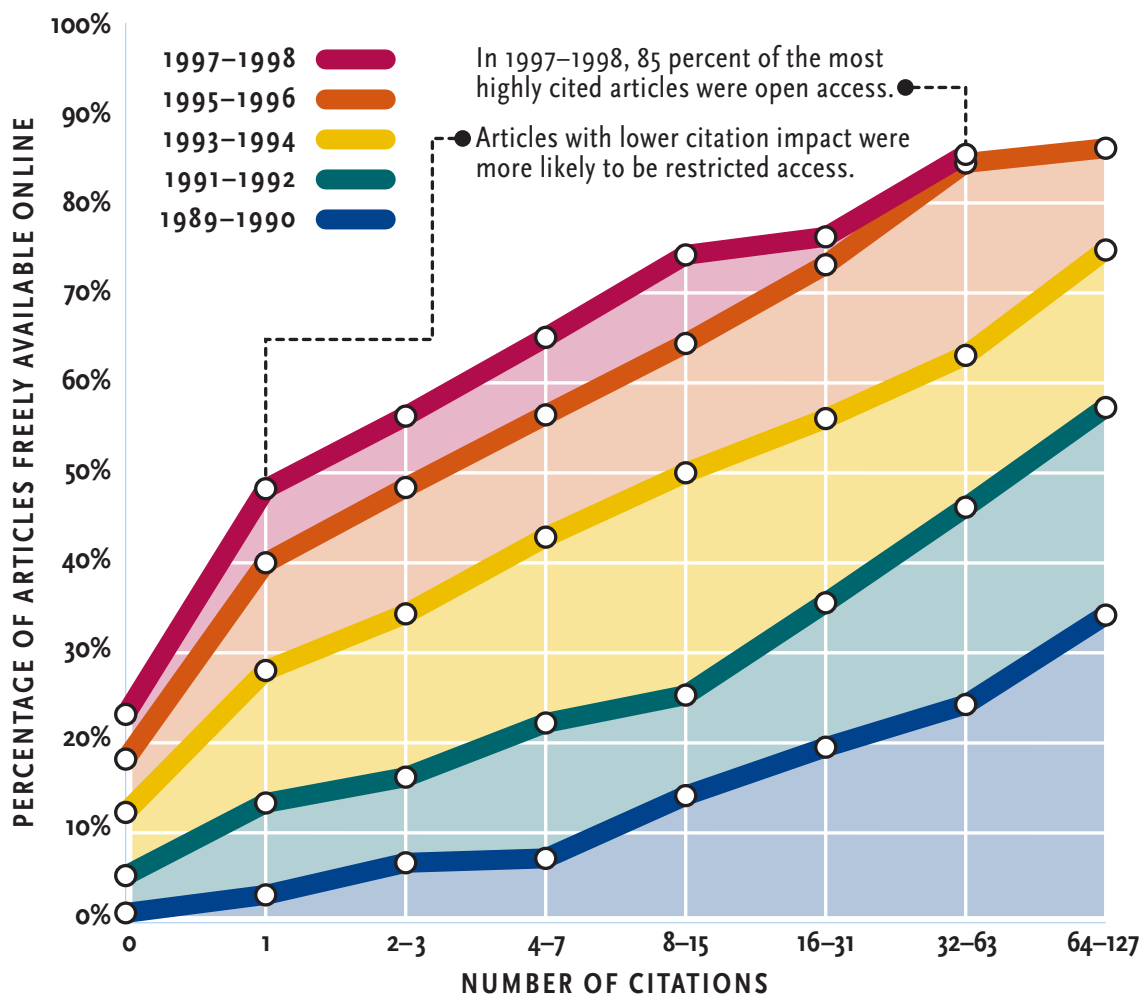
SPARC Europe

www.sparceurope.org

オープンアクセスは研究を加速します。

- ご存知のように、科学者や研究者の皆さんは、自らが執筆した雑誌論文に対する金銭的な報酬を受けることはありません。多くの場合、論文の刊行の前に、掲載誌に著作権を譲渡しなければなりません。本を書く、あるいはソフトウェアを開発する時には、印税を得ることがあるかもしれませんが、雑誌論文に対する報酬はより抽象的なものです。すなわち、研究分野の前進と研究者としての地位の向上です。
- 学術論文を執筆する研究者の皆さんが印税と知的所有権を放棄しているのですから、読者はそのことによって恩恵を受けるべきではないでしょうか。オープンアクセスは、価格と許諾の障壁を取り除くことによって、皆さんの論文を利用しやすくしてくれます。オープンアクセスは、著者としての皆さんの利益につながると同時に、全ての潜在的な読者のためにもなるのです。
- 印刷の時代には、オープンアクセスは物理的にも経済的にも不可能でした。しかし、インターネットのおかげで、現実のものとなりつつあります。今や、金銭的な報酬を期待することなく雑誌論文を執筆するという伝統と、電子出版とがあいまって、前例のない公共財が生まれています。それが、無料でオンライン利用できる査読済みの学術雑誌論文です。
- この種の研究成果の配信形態が、皆さんの論文の読者の拡大、知識の幅広い共有、及び研究の加速にとって、どのような意味を持つか考えてみましょう。オープンアクセス・アーカイブとオープンアクセス誌は、直ぐにでも実現可能であり、かつ合法的なものです。オープンアクセス形態のアーカイブや雑誌は世界中に広まりつつあります。この事実が、オープンアクセス・アーカイブやオープンアクセス誌が、費用対効果や科学や学術研究に対するサービスの点で、購読料に依存する従来の伝統的な雑誌を凌駕していることの証しでもあるのです。
- 皆さん、オープンアクセスの恩恵を全ての人々にもたらすことを目的とした、この世界的に広まりつつある運動に、ぜひ参加してください。

オープンアクセスは研究のインパクトを高めます。



NEC 研究所 (NEC Research Institute) の研究者であるスティーブ・ローレンスは、標準的な主題書誌に引用されている約 120,000 件のコンピュータ科学分野の論文の分析を行い、継続して高レベルのインパクトすなわち引用数を示す論文は、オープンアクセス論文が占める割合が高く、逆にインパクトの低い論文はオープンアクセス論文の割合が低いという事実を発見しました。さらに、この相関関係が 10 年に渡って着実に強まっていることを明らかにしました。

出典: Steve Lawrence, "Online or Invisible?" *Nature*, Vol.411, No.6837, p.521, 2001.

<http://www.neci.nec.com/~lawrence/papers/online-nature01/>

何故、オープンアクセスに関心を持たなければならないのでしょうか？

- 著者として
購読者を限定している雑誌に比べて、たとえそれが最も権威のある雑誌であっても、より多くの潜在的な読者を得ることができます。オープンアクセスを通じて、研究者の皆さんの論文のインパクトは向上し、投稿から出版までの期間は短縮され、論文の発見と利用が簡単になるので、その効果は高まります。また、皆さんの論文は全ての検索ツールから利用できるようになるのです。
- 読者として
皆さんの研究に欠かせない文献に無料でオンライン・アクセスできるようになります。
- 教員として
学生が、自分が必要な情報に簡単にアクセスできるようになるでしょう。オープンアクセス文献の著者や著作権保有者は、複製物を作成し、配布することを前もって許しています。もはや遅れも、疑念も、料金も存在しません。公正利用（フェアユース）の判断を求められたり、法的な責任を恐れたり、慎重になりすぎるあまりに必要とする文献を利用できないという辛い思いをする必要もありません。
- 科学者あるいは学者として
もはや持続することが不可能な雑誌出版システムについて理解できるようになるでしょう。インターネットによって、地球規模で知識を共有するという絶好の機会が訪れているというのに、多くの雑誌の価格は上昇を続け、制御不能となっています。また、図書館も購読を中止し、新規購読を控え、図書予算を食いつぶさざるを得ません。この危機に対しては、いくつもの解決策がありえます。しかし、オープンアクセスが最も効果的です。そしてなによりも、オープンアクセスは皆さんの手の届く所にあるのです。

どうすればオープンアクセスの形で論文を提供できるのでしょうか？

- 論文をオープンアクセス誌に投稿してください。Directory of Open Access Journals (www.doaj.org) には1000タイトル以上の査読付きのオープンアクセス誌が掲載されています。また、毎月新しいオープンアクセス誌がオンラインで刊行されています。
- 皆さんが所属する学術機関が運営するオープン・デジタル・アーカイブや分野別のアーカイブにプレプリントを保管してください。こうしたオープン・アーカイブの一覧については、www.arl.org/sparc/repos をご覧ください。また、出版社の許しが得られれば、ポストプリント（雑誌に掲載される形の改訂原稿）もオープン・アーカイブに登録してください。
- 購読に依存する雑誌に論文を投稿する場合には、皆さんの権利と読者の権利を保留してください。それには、出版社が用意している著作権に関する書式に、SPARCが作成した「著者の添付書類」を追加するだけで事足ります。雑誌がこれに同意しない場合には、粘り強く対応してください。議論を通じて、出版社に著者にとって何が大事かを理解させてください。くれぐれも、ポストプリントを皆さんの個人サイトに掲載することができるようにすることを忘れずに。もちろん皆さんの学術機関が運営するオープン・デジタル・アーカイブや分野別アーカイブに掲載することができれば、その方が望ましいのは言うまでもありません。
- 購読に依存する雑誌に論文を投稿する場合には、オープンアクセスをオンラインで提供する費用を自らが払うと申し出てみてください。オープンアクセス出版の方法と経済性について実験する手段として、この方式を受け入れる雑誌が徐々に増えつつあります。そのような申し出が来るのを待ち受けている雑誌もあります。

Open Access

どのようにすればオープンアクセス運動を支援できるのでしょうか？

- もし皆さんの所属機関あるいは専門分野にオープン・デジタル・アーカイブが無かったなら、その創設の後押しをしましょう。こうしたアーカイブを構築し維持するために、オープン・ソースのソフトウェアが用意されています。
- 皆さんの専門分野のオープンアクセス誌を創刊しましょう。オープン・ソースの雑誌出版ソフトウェアを活用すれば、事務的な業務を自動化し、費用を抑制することができます。
- オープンアクセス誌の編集委員として奉仕し、査読に協力してください。
- 助成金審査、雇用、テニユア（終身身分保障）、あるいは昇進の委員会の委員としての地位に就いている場合は、価格や媒体に左右されること無く、査読済み出版物を正当に評価してください。また、従来の雑誌の権威やインパクト・ファクターのみに頼らないようにしてください。なぜなら、こうした評価基準は、優れた品質を備えている可能性のある創刊誌を排除することになりかねないからです。
- 皆さんが所属する学会がオープンアクセスを理解するのを助けてください。学会の委員会や理事会に参加し、ニュースレターにオピニオンを发表しましょう。学会が刊行する雑誌にオープンアクセスの方針を採用するよう後押ししてください。そして、皆さんの専門分野の他の雑誌にもオープンアクセスを推奨してください。
- もし皆さんが雑誌の編集委員の場合は、出版社にオープンアクセスのビジネスモデルを採用するよう促してください。出版社がオープンアクセスの採用に消極的で、アクセス制限の方針を固持する時には、「独立宣言 (Declaring Independence)」に沿って、生物学や数学のような分野の雑誌に従うことを検討しましょう。他の編集委員と協力して、当該雑誌を脱退し、同一の専門分野に貢献するオープンアクセス誌を創刊することも一案です。SPARCのような組織がオープンアクセス誌への移行を手助けします。
- 学術雑誌の真の価値について議論することを通じて、皆さんの所属する学術機関の図書館が、雑誌の購読や中止に際して賢明な決定を下す手助けをしてください。雑誌の中には、その価格が実際の量、質、インパクト、利用を正当に反映していないタイトルもありますが、図書館員は、そうした不当な雑誌を購読することによって、価格危機を永続化するような行動を取らざるを得ないような状況にしばしば追い込まれているのです。
- 同僚及び次世代の科学者や学者を導いてください。皆さんは、オープンアクセスを阻害するような神話や人騒がせな主張が、反論を受けることなく世の中に流布するのを阻止することができます。オープンアクセスは、査読、著作権、研究者としての地位の向上と共生できるのです。

オープンアクセスの事例

- 天文学の研究者の皆さんは、arXiv.org の e プリント・サーバを活用して、Astrophysical Journal の論文をオープンアクセス化していますが、その結果、論文の被引用率は2倍になりました。

出典：Stevens-Rayburn, Sarah. Account of 2003 AAS Publication Board meeting email to PAM electronic discussion list. November 13, 2003.

<http://listserv.nd.edu/cgi-bin/wa?A2=ind0311&L=pamnet&D=1&O=D&P=1632>

- Limnology and Oceanography に論文を発表する際に、オープンアクセスのオプションを選択した科学者の論文は、他の論文に比べて、当該雑誌のウェブサイトから3倍も多くダウンロードされています。

出典：American Society of Limnology and Oceanography.

<http://aslo.org/lo/information/freeaccess.html>

さらに詳しい情報を得るには

- これらの問題についてさらに深く知りたい方は、Create Change のウェブサイトをご覧ください。

www.createchange.org

- このパンフレットの冊子を希望する方は、pub@ar1.org までメールでお申し込みください。